

住中だより

第15号 平成24年11月14日発行
大東市立住道中学校

校長 岡本 功

0 7 2 - 8 7 2 - 7 3 5 1

<http://ed.city.daito.osaka.jp/sumi-jhs/>

全国学力・学習状況調査結果について

◇3年生対象に実施されました。

◇実施日は4月17日でした。

下記の概要はあくまで4月時点での調査結果に基づいたものです。

◇調査対象教科は国語(A・B)・数学(A・B)・理科です。

◇A問題は「主に知識に関する」問題、B問題は「主に活用に関する」問題です。

◇各生徒(3年生)には先月、個人票にて結果を返却しています。

◇大東市の結果につきましては市報(11月号)に掲載されています。

国語

A問題：正答率が府平均及び全国平均より高い。

B問題：正答率が府平均より高いが、全国平均よりやや低い。

- ★無解答率がA・Bともに全国平均より低く、府平均と比べて半分程度であり、前向きに取り組もうとする姿勢が評価できる。
- ★A問題については、極端な高位層は少ないものの、正答率80%程度の高位層が全国平均に比べて多い。
B問題についても、極端な高位層は少ないものの、中位層から高位層にかけての割合が比較的多い。また、低位層の割合は全国平均に比べても少ない。
- ★A問題については、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「言語活動」の領域において全国平均正答率を上回っている。
とりわけ、「話すこと・聞くこと」については大きく上回っている。
ただし、「書くこと」が府平均は上回っているが、全国平均より若干低く、課題である。「必要な情報が相手に伝わるように説明する」設問の正答率が低かった。
B問題については、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」すべての領域において、府平均を上回っている。

9つの設問のうち、全国平均より正答率が下回っているのは4問で、特に「自分の考えを書く」設問に対しては無解答率は低いが、正答率が低かった。

数学

A問題：正答率が府平均より高いが、全国平均よりやや低い。

B問題：正答率が府平均及び全国平均より高い。

- ★無解答率がA・Bともに全国平均より低く、府平均と比べて半分程度であり、前向きに取り組もうとする姿勢が評価できる。
- ★A問題については、全国や府と同様の分布傾向である。若干中位層が多い。
B問題については、全国平均に比べて中位層の割合が多く、極端な低位層は少ない。
- ★A問題については、「数と式」「図形」領域は全国平均とほぼ同じ正答率であるが「数量関係」に課題がある。
市の傾向と同様に「簡単な場合について確率を求めること」「相対度数の必要性と意味の理解」について課題が大きい。
B問題については、すべての領域において全国平均を上回っている。
- ★問題形式については「記述式」の正答率が全国平均に比べても際だって高く、問題に真摯に向き合える態度の表れであると評価できる。

理科

正答率が府平均及び全国平均より高い。

- ★無解答率がA・Bともに全国平均より低い。
- ★分布傾向は全国や府と同様である。極端な低位層は少ないものの、全国平均正答数（13.3問）に比べて、やや低いところ（13問・10問）に人数の山がある。
- ★知識に関する問題については、正答率が府平均より高かったが、全国平均より低かった。
活用に関する問題については、全国平均を上回っている。
特定の領域において正答率が低いということはない。

進路選択に向けての正念場はまさにこれからです。3年生一人ひとりがそれぞれの目標を達成するために、一層努力を重ねなければなりません。

一方、進路選択に対する不安感や目標を定められない焦りなどから、「この期に及んで」生活リズムを崩したり、学習から逃避したり、生徒指導上の課題が表面化する生徒も残念ながら出てくる時期でもあります。

この時期に身だしなみや遅刻、授業態度などに課題が残るようでは黄信号点減です。自分の目標に向かって「やるべきこととやりたいこと」が一致している生徒は、自ずと表情や身だしなみ、振る舞いもそれなりのものになってくるものです。

私立高校入試まで3ヶ月を切りました。学力、精神的に上昇気流で当日を迎えられるかどうかで結果が左右されます。

『画竜点睛を欠く』ことのないよう、学年の教員を中心に進路指導において生徒をバックアップしていきます。

卒業までの4ヶ月、生徒が落ち着いた学校生活を送り、進路選択に集中できますよう保護者の皆様方にもご協力をお願いいたします。

本校の取組み

学力向上の基盤は
「生活習慣」と「授業」です

☆ 「学び合う授業」づくりの推進

☆ 毎日宿題と家庭学習ノート

家庭学習の習慣をつけることがねらいです。

「もう宿題はしたの？」と愛の一声をお願いします。

☆ 「土曜チャレンジ」

土曜日（隔週）の午前中、およそ150名の参加生徒が熱心に学習しています。

☆ 「すみスタ」（基礎学習会）と「まなび舎」（自主学習会）

火曜日をクラブなしの日として実施しています。

☆ 検定に挑戦（英語検定・漢字検定・日本語検定・数学検定）

本校を準会場にして実施しています。

☆ 「授業だより」（月1回）の発行

本校が授業で取り組んでいること、毎月の授業計画、学習方法などを掲載しています。

「英語能力判定テスト」(3年生)

1月7日(水)、3年生が「英語能力判定テスト」を受検しました。このテストは本校が「大阪府・使える英語プロジェクト推進事業(府下50中学校区)」を推進していることから、取組みの一環として実施されたものです。

住中では、全学年の英語科において少人数授業を実施しており、AETのアシュリー先生も加わって活用力・コミュニケーション力の育成にも力を入れています。

今回は3年生対象でしたが、3学期には1年生・2年生も受検します。

なお、一次テスト合格生徒は12月に二次テストがあります。

「中研学芸の部」吹奏楽部が出演しました

1月8日(木)「第53回大東市中学校総合発表会・学芸の部」がサーティホールで開催され、本校からは吹奏楽部が出演をしました。

特に3年生の部員にとってはラストステージ。万感を込めての演奏であったことと思います。

大舞台で質の高い演奏を披露し、他校の先生方も感心しておられました。

1・2年生の皆さんも自信を持ってさらに練習を積み重ねていってください。



1・2年生「二者懇談」を実施します

3年生の進路懇談と同日程【11/19～22】で1・2年生は二者懇談(担任と生徒)が行われます(3年生は午前中授業となりますが、1・2年生は午後も授業があります)。

二者懇談は、生徒と担任が懇談をすることにより、

○学校生活などの現状を振り返り、頑張っているところ、課題、そして今後の目標を明確にする。

○不安や悩みなどについての相談。

などを目的にして実施されるものです。

教育相談としての意味合いが大きい二者懇談です。

生徒の皆さんは、さらに前向きに不安なく学校生活を過ごすために、遠慮なく相談をしたりアドバイスを受けていたりして、有意義な時間にしてほしいと思います。